上田市議会議員
佐藤のりゆき
佐藤論征

後援会報
3月定例会報告

２０１７年３月定例会号

佐藤のりゆき後援会
発行責任者　森山　和
上田市真田町長 3576-1
TEL 0268-72-5666
FAX 0268-72-2622

平成 29 年度上田市一般会計当初予算　662 億 4,820 万円

特別会計（8 会計）　369億6,119万円（前年度比1%増）　企業会計（5 会計）　175億2,211万円（前年度比 3.4%減）

上田市議会 3 月定例会が平成 29 年 2 月 27 日から 3 月 23 日までの会期 25 日間で開会され、平成 29 年度上田市一般会計当初予算案など 47 議案が可決されました。一般会計当初予算案は、662億4, 820万円の予算が可決され、小中学校耐震化工事などの終了に伴い前年度と比較し24億1, 875万円減、率にして3. 5%減の予算規模となりました。

学園都市づくり

長野大学関係事業　2 億 7,645 万円余
長野大学の平成 29 年 4 月からの公立大学法人化に伴い運営費交付金を交付する。この交付金の財源は国から上田市に対し支出された交付金で、上田市は国からの交付金以上に長野大学に対し交付金を支出しないものとしています。

交流・定住の推進

国際キャンプ地等誘致推進事業　534 万円余
2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地を菅平高原に誘致するための経費。

広報シティプロモーション推進事業　1,000 万円
真田丸効果による知名度アップを活かし、上田の地域資源や魅力を様々な機会・メディアを通じ、首都圏へプロモーションするための動画製作、テレビ・インターネット広告などの経費。

子ども・子育て支援、未来を担う子どもたちの教育環境等の整備

見守りし合わせ支援事業　71 万円余　【新規事業】
支援が必要な産後の母子に対して、訪問による傾聴を中心とした見守り支援。　（見守りし合わせ支援事業=誤字ではありません。正確な事業名です。）

母子家庭等援護事業　2,242 万円
高等職業訓練促進給付金、ひとり親家庭高等学校卒業程度認定支援合格支援給付金などの経費。平成 29 年度ワンストップ相談会（心配事相談会）を新たに実施。児童扶養手当の現況届提出に合わせて、専門家も含めた関係機関が相談に応じるワンストップ型相談会を日曜日に開催する。

学校支援事業　72 万円　【新規事業】
信州型コミュニティスクールに係るボランティアの方が安心して活動できるように、ボランティア保険に加入する。

安心・安全のまちづくり

防犯灯更新・撤去補助金　632 万円余　【新設補助金】
自治会が設置するポール式防犯灯の更新・撤去費用に対する補助金を創設。補助率2／3以内、更新上限 45,000 円、撤去上限 10,000 円。

市庁舎改修・改築事業　756 万円余
本庁舎及び南庁舎の改修・改築に係る基本計画策定支援業務委託などの経費。

生活対策事業　80 万円　【新設補助金】
振り込め詐欺等の被害を防止するため、対策機能付電話機等の購入に対する補助金を創設（補助率1／2、上限 5,000 円）。

運転免許証自主返納支援事業補助金　200 万円　【新設補助金】
高齢者等によるアクセル・ブレーキの踏み間違いやハンドル操作ミスなどによる交通事故が多発し、社会問題化しており、その対策として運転免許証の自主返納を促し、その後の公共交通を利用するきっかけづくりのため、運転免許証自主返納者に対しタクシー利用権を給付する。
対象者：平成 29 年 4 月 1 日以降に運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けた市民。
タクシー利用補助券：①②から選択
① 市内タクシー利用補助券：10,000 円分（500 円×20 枚）
② 武石スマイル豪利用補助券：10,000 円分
（300 円券×33 枚＋100 円券×1 枚）

運転免許証自主返納については、公共交通利用促進について一般質問を行った際に返納者に対する市の支援について提案した事項です。運転免許所自主返納されたかたは、申請すると運転経歴証明書が発行されます。平成 24 年 4 月以降に発行されたものについては、本人確認書類として利用もでき、タクシー会社などが独自で行う返納者への優遇サービスを受ける際の証明書ともなります。（証明書発行は警察署）

運転経歴証明書（見本）

消防団員等応援事業　224 万円余【新規事業】
消防団への納入促進及び団員の処遇改善のため、市内温泉入浴施設の入館料補助券を発行する。対象者：消防団員及びその家族
補助額：1 回あたり 250 円の補助券を団員 1 人につき 4 枚配布

循環型社会の形成

廃棄物処理審議会　17 万円余　【新規事業】
廃棄物処理審議会を設置し、審議会及び意見・提言を施策に反映することで更なるごみの減量化・再資源化を推進する。また、ごみ減量、再資源化対策事業として生ごみの減量化・堆肥化に向けたシンポジウムの開催に別途 10 万円の予算を計上。

佐藤のりゆきホームページ　http://www.noriyuki-sato.com
上田市議会議員　佐藤のりゆき　検索
スマートフォンからもご覧いただけます

地域医療のさらなる充実、健康・福祉の増進

若い世代からの健康づくり事業　1,016 万円余

健康づくりに関心のない市民の意識の向上を図り、高齢になっても生活の質が落ちないよう、生活習慣病の発症を抑えることを主眼とし事業を図るもので、新規事業として二十歳無料歯科検診を創設し、成人者を対象に歯科検診を実施。自己の歯の健康管理への関心を高め、将来に向けて歯周病の予防を図る。充実事業としては、妊娠中の女性の歯周病疾患予防を図るため、妊娠歯科診察を無料で実施する。

真田ブランドを生かした産業振興と地域経済の活性化

ジビエ振興策研究事業 30 万円　【新規事業】

捕獲した有害鳥獣の有効活用に向けて、ジビエ振興策の研究を進めるための研修会、試食会を開催する

自治体広域連携事業 200 万円

長野市や松本市等と連携し効果的な観光誘客を実施する。

基幹産業支援体制整備事業 1,060 万円

既存製造業の安定成長を図るため、市内３商工団体と連携して、コーディネータによる市内受注体制の確立、産業展への共同出展等の販路拡大などの支援を行う。

無料職業紹介事業（地方版ハローワーク事業）21 万円余【新規事業】

ハローワークと同様に地域の求人情報を検索・閲覧できるシステムを導入し、求職者にきめ細かな就職相談を実施する。

6 次産業化推進事業 420 万円

うえだみどり大根等ブランド化推進に向けた研究の委託について、新たにこの事業に盛り込む。

ブランディング支援事業補助金 1,000 万円　【新規事業】

伝統工芸品や特産品販路拡大、6 次産業・農商工連携や異業種連携による商品開発や販路拡大の取り組みを支援し、付加価値の創出と信州上田の知名度向上を図る。対象経費：新商品の開発改良・販路拡大に係る経費　補助率：2／3以内　上限 400 万円

信州上田台湾プロモーション事業負担金 250 万円　【新規事業】

台湾からの誘客のためのプロモーション事業の負担金

大河ドラマ館後利用事業負担金 3,586 万円余

大河ドラマ館の後利用施設において行う、真田氏や上田城に関連した特別企画展の負担金。特別企画展名称：400 年の時を経て甦る上田城　内容：VR（立体視）システムを利用した 400 年前の上田城体験、真田氏の歴史の紹介、ゆかりの品展示など。

条例改正

上田市職員の特殊勤務手当に関する条例中一部改正

死獣の収集業務に従事した職員に支給する特殊勤務手当ついて、作業状況等の程度を踏まえ、実情に即した支給とするため、所要の改定を行うものです。

死獣の収集業務に従事した職員　日額 350 円→1 回 500 円

日本鹿など大型獣が増えたことに加え、一日に何度も収集業務に携わるケースが増えた。

上田市組織条例中一部改正

平成 29 年 4 月 1 日付けの組織改正で、効果的かつ効率的な組織体制の構築による「総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図る組織とするため、改定を行う。現在の 18 部113課の 11 課を廃止し、新たに 12 課を新設する 18 部114課体制。

上田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定

地方教育行政組織の組織及び運営に関する法律に基づき、文化に関する事務（文化財保護に関することを除く）を教育委員会から市長部局に移管するため、必要な事項を定めるものです。

一般質問

NHK大河ドラマ「真田丸」放送終了後の観光行政について

昨年 12 月 18 日をもってNHK大河ドラマ「真田丸」は放送を終了しました。視聴率はビデオリサーチ社の発表で、関東地区で全 50 話の期間平均視聴率が関東地区で 16.6%、関西地区で 15.9%となり、過去5年では関東地区において最高となり、2時間早く放送されていたBSプレミアムでも期間平均視聴率は 4.7%となり、BSプレミアムの視聴率としては驚異的な視聴率となりました。この放送に伴い上田市は活気に沸き、上田市を訪れるお客様もこれまでに経験のないくらいの多くの方が上田市を訪れ、上田市の大河ドラマ館については、史上最高の入館者数 103 万 5,208 人を記録いたしました。この契機をしっかりと捉え、今後にも生かしていかなければなりません。そこで、今回放送終了後の取り組みについて質問いたしました。

問　長野経済研究所の調査によると、上田市内では経済効果は 67 億 9,000 万円、県内全体では 200 億 9,000 万円に上るとのことでありました。市内での交通費を除く消費額が 67 億 9,000 万円、長野県内での交通費を除く観光消費額は 143 億 3,000 万円で、上田市内での消費がほぼ半分との推計で、県内効果として、交通費 42 億円を含め 200 億 9,000 万円となったとのことでありました。これまでの放送の舞台となった地域においても同じような経済効果の調査はされているが今回の数字と単純に比較して良いのか。また、この数字を市はどのように捉えているのか。

答　調査の積算方法がそれぞれ違うため、単純に数値だけを比較することはできない。上田市の調査方法はアンケート調査を基に積算したため、より実態に即している。今回の調査においては自由意見欄を設け、よかった点、改善したほうがよい点についても記載していただいた。これらを今後分析する中で、ポスト真田丸における誘客の促進、観光消費の喚起に生かしたい。

NHK大河ドラマ「真田丸」放送により過去に例がないほどの観光客が上田市を訪れました。放送終了後にはこれまでの大河ドラマの舞台となった地域を見ても顕著に観光客が減ってきております。これはどのような手段をもっても防ぎ切れるものではないかもしれません。ただ、この真田氏の人気が放送により全国の多くの人が知るところとなり、今後の上田市の観光行政の追い風となったことは間違いありません。放送終了後の上田市の観光施策、ならびに観光客数の減少を少しでも抑える取り組みとして外国人観光客誘致（インバウンド）の取り組みが非常に重要であります。日本における訪日外国人が過去最高を記録し、大河ドラマ「真田丸」の放映が本年台湾でも行われるなか取り組みを強めるべきであります。また、菅平におけるラグビーワールドカップ合宿誘致、オリンピック・パラリンピック合宿誘致をするうえでも重要であり、外国人観光客誘致について質問いたしました。

問　ポスト真田丸としてのインバウンドの取り組み強化の見解はどうか。また、具体的な取り組み強化の手段をどう考えているか。

答　訪日外国人旅行者数が過去最高を記録するなか、今回の放送を取り組み強化の契機にしたいと考えている。具体的な手段については、既にホームページの多言語化やパンフレットの多言語化は実施済みであることから、今後は国内外で開催されるインバウンド商談会への参加など、直接的な活動が必要であると考えている。近隣で実績を上げている市町村のアドバイスも得たい。

佐藤のりゆき 出来事

４月２日に地元の真田自治会で毎年恒例の分館主催の敬老会が催されました。敬老会のだしものでこれも毎年恒例となっている笑劇団真田による水戸黄門の劇が披露されました。私も劇団に所属しておりますので、これまた恒例の「馬」役で参加いたしました。敬老者の皆さんと楽しい時間を過ごしました。